

Title	増殖性静脈瘤 (臨床講義)
Author(s)	鳥潟, 隆三; 神部, 信雄
Citation	日本外科宝函 (1931), 8(1): 89-93
Issue Date	1931-01-01
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2433/201649">http://hdl.handle.net/2433/201649</a>
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

# 増殖性靜脈瘤

Proliferierendes variköses Haemangiom.

## (臨床講義)

昭和5年12月8日

教授 醫學博士 鳥 潟 隆 三 講 述

助手 醫學士 神 部 信 雄 筆 記

患 者。金○石。23歳男。製綿工。昭和5年11月28日入院。

遺傳的關係。特ニ述ブベキモノナシ。

既往症。生來健ニシテ著患ヲ知ラズ。花柳病ニ罹リタルコトナシ。

現在症。約3年前、右側大腿ノ内側上部ニ當リ、鶏卵大ノ無痛性膨隆ヲ生ジタガ、何等ノ苦痛ナク、只少シク右側下肢ニ倦怠感アルノミナリキ。爾來該膨隆ハ次第ニ下方ニ向ヒテ増大シ、右側下肢ノ倦怠感亦強キヲ加ヘ、歩行時ニ鈍痛ヲ訴フ。食慾、便通、睡眠ニ異狀ナシ。(以上受持醫員朗讀。)

教授「右大腿内側ニ無痛性ノ膨隆ガ出來テソレガダンダン大キクナツタガ、大シタ苦痛ガ無イト云フノデアリマス。先ヅ一般所見カラ診マスト、」

學生「體格ハ中等大デ榮養ハ良好デ、頭部、顔面ニハ變ツタ所ガアリマセン。胸部デハ心臟ニモ肺臟ニモ變化ヲ認メマセン。」

教授「ソレカラ、」

學生「腹部ニモ異狀アリマセン。」

教授「肝臟、脾臟、腎臟ハ、」

學生「變ツタコトハアリマセン。……肝臟モ、脾臟モ、腎臟モ觸レマセン。」

教授「主訴ニヨツテ、右大腿ヲ診マスト、」

學生「右大腿内側ガ膨隆シテ居マス。」

教授「右大腿ニ於テ其ノ内轉筋群ノ部分ガ一般ニ膨隆シ、且ツ更ニ粗大性ニ凹凸ガアリ、周圍トノ限界ハ明瞭デアリマセン。ソレカラ表面ノ……」

學生「表面ノ皮膚ニハ變化ナク、皮下靜脈モ大シテ擴張シテ居リマセン。」

教授「左側ニ比シ、皮下ニ多少靜脈ヲ明ニ認メマスガ、擴張シテ居ルト云フ程デハアリマセン。尙視診デ……」

學生「……」

教授「陽性ノ所見ノミナラズ、陰性ノ所見ヲ舉ゲル事モ必要デアリマス。系統的ニ診察

ヲ行フ爲ニ、又微細ナ所見ヲモ見逃サス爲ニ、陰性ノ所見ニモ注意スベキデアリマス。異狀ナ搏動ハ認メマセン。只時々筋肉ノ纖維性搖擗ヲ認メマス。……デハ觸診致シマシヨウ。」

（學生觸診ヲ始ム。）

教授「其ノ様ニ片手ダケ出シテ、シカモ中指デ一寸突ク様ナ事ヲシテハ觸診ニナリマセン。一定ノ作法ニヨツテ、双方ノ手デ靜ニ觸診スルノデス。微細ナ點ハ兩示指端デ診マス。」

學生「硬度ハ彈性軟。」

教授「觸診ノ始メニハ先ヅ局所ノ溫度ノ上昇ヲ診マス。」

學生「局所性溫度上昇ハアリマセン。膨隆ハ内轉筋群全體ニ亘ツテ居リマシテ……」

教授「周圍トハ……」

學生「周圍トノ限界ハ不明瞭デアリマス。」

教授「委シク云ヘバ上方ハ……」

學生「上方ハ鼠蹊皺襞、下方ハ膝窩上4横指……」

教授「ソウデス。1横指、2横指、3横指、次ハ4横指又ハ halbe Handbreit（半手掌）ト申シマス。膝窩上半手掌デス。大腿前面デハ……ココニハ内轉筋ノ爲ニ出來タ管ガアリマシタネ。」

學生「Adduktorenkanal（内轉筋管）デス。」

教授「ソウデス。Hunter 氏管ト申シマス。前面ハ Hunter 氏管ニ及ビ、後面ハ内轉筋群ニ限局サレテ居リマス。次ニ硬度ハ……」

學生「腫瘤ノ何レノ部分モ彈性軟デス。」

教授「同時ニ觸診スベキ重要ナ事ハ、」

學生「……」

教授「壓迫ヲ加ヘルト……壓縮スルト……」

學生「壓縮性ガアリマス。」

教授「壓迫スレバ腫瘤ハ消失シ壓ヲ去ルト次第ニ膨レテ舊態ニ復スル場合ヲ壓縮性ガアル（komprimierbar）ト申シマス。壓縮性ガアルノハドウ云フ事ヲ意味スルノデスカ。」

學生「血管ト連ツテ居ル場合デス。」

教授「ソレハ腫瘤内容ガ液體デアツテソレガ一定ノ體腔又ハ脈管ト連ツテ居ル事ヲ意味シマス。本例ニ於キマシテハ血管又ハ淋巴管ト考フベキデアリマス。然ラバ此ノ内ニアルノハ血液デシヨウカ、又ハ淋巴液デシヨウカ。コレヲ診斷スルニハ、」

學生「Diaphanoskopie（透照検査法）ヲ行ヒマスガ、光ヲ透シマセン。」

教授「一番表面ニ近クアル部分デ検査シマシテモ、透照検査ノ結果光線ヲ透シマセン。ソ

レデコノウチニハ淋巴液ハナクテ、光線ヲ遮ル微粒子ヲ混ジタ液、此ノ場合デハ血液ガアルト考ヘラレマス。……即チ血管ニ連ツテ居ルト理解スルノデアリマスガ、血管トスレバ動脈デショウカ。又ハ静脈デショウカ。」

學生「……………」

教授「若シ動脈トスレバ、」

學生「搏動ヲ觸レマス。」

教授「動脈ニ連ツテ居テモ、又ハ連ツテ居ナクモ直接動脈ニ騎ツテ居ル場合ニハ搏動ヲ見マス。本例ハ視診上デハ搏動ガアリマセン。動脈性ノ腫瘤デアルカ、否カノモツト確カナ證據ハ、」

(學生聴診器ヲ出シテ局所ニ當テル。)

學生「雑音ヲ聞キマセン。」

教授「ソウデス。雑音ノアル腫瘤ハ動脈性デアリマス。シカシ聴診シナクトモ、此ノ事ハ觸診デ充分知り得ルノデアリマス。即チ觸レテ診マシテモ何等渦性雑音ヲ感知シマセン。注意スレバ種々ナ道具ヲ用ヒズトモ簡單ナ方法デ診断ニ役立つ重要ナ所見ヲ得ルコトガ多いノデアリマス。」

教授「即チ此ノ場合ハ静脈管カラ成立ツテ居ル腫瘤デアリマス。此ノ様ナ腫瘤ハ或ハ海綿様血管腫 (Angioma cavernosum) 或ハ静脈瘤 (Varizen) 或ハ Angioma arteriale racemosum od. plexiforme, od. Rankenangiom (蔓状血管腫) デアリマス。Angioma simplex (單純性血管腫) ト稱セラレルノハ、表皮ノ毛細血管ノ擴張及新生デアリマシテ先天性異状デアリマス。コレハ幼兒ニ見ルモノデ Naevus vasculosus (血管性母斑) トモ言ハレマスガ、本例ノ鑑別診断ニハ問題トハナリマセン。静脈管カラ出来テ居ル腫物ニモ此ノ様ニ種々ナモノガアリマスガ、此ノ患者ノ静脈管腫ハ此等ノ中ノドレニ屬スルモノデアリマスカ。」

學生「……………」

教授「此ノ所見サヘ捜シ出スコトガ出来レバ、ソレデ診断ガ確定スルト云フ様ナモノガアリマセンカ。」

學生「……………」

教授「此ノ血管腫ヲ更ニ詳シク觸診シテ御覽ンナサイ。」

學生「所々ニ硬結ヲ觸レマス。」

教授「ソウデス。大ナルモノハ大豆大、小ナルモノハ米粒大、殆ンド凡テ球形ノ硬結ヲ散在性ニ觸知シマス。硬度ハ骨様又ハ軟骨様ニ硬ク、表面滑澤デ此ノ腫瘤中ニ包埋サレ、移動性ハ著明デアリマセン。マタ壓痛モアリマセン。コレハ何物デアリマスカ。」

學生「Phlebolithen (靜脈結石)。」

教授「其通りデス。之ハ病的變化ニ固有ノモノ (pathognomonisch) デアリマシテ、コレサヘアレバ診斷ハ確定的ニナリマス。診斷ハ何デアリマスカ。」

學生「……………」

教授「靜脈瘤デアリマス。靜脈性ノ他ノ腫瘍、例ヘバ海綿様血管腫、蔓狀血管腫デハ此ノ靜脈結石ハアリマセン。コレデ診斷ガキマル譯デアリマス。但シ靜脈結石ガアレバ靜脈瘤デアリマスガ、靜脈瘤ハ必ズシモ靜脈結石ヲ有スルモノトハ限リマセンカラ之ハ注意ヲ要シマス。此ノ患者デハ腫瘤ノ全體ニ亙ツテ約16個ノ靜脈結石ヲ觸知スルノデアリマス。靜脈結石トハ何物デアリマスカ。」

學生「靜脈瘤内ニ凝血ノ石灰化シタモノデアリマス。」

教授「靜脈結石ハ普通教科書ニ書イテアル所デハ、血液ガ靜脈瘤内デ鬱滯凝固組織化シ、石灰化シタモノトシテ居リマスガ、又血管内膜ガ内腔ノ方ヘ新生増殖シテ小結節ヲ作り、中心部ガ脂肪化シ、石灰化シテ生ズル場合モアリマス。此ノ場合ニ組織標本ヲ作ツテ見ルト、靜脈結石ノ表面ハ新鮮ナ内被細胞デ被ハレテ居ルノデアリマス。マタ其ノ一部ガ細イ莖ヲ以テ靜脈瘤内膜ト連絡シテ居ルコトヲ立證出來ル場合モアリマス。コレハ靜脈管内膜ノ異常ナル新生増殖ノ一ツノ標徴デアリマス。從ツテ此ノ患者ノ如ク腫瘤ノ全部ニ亙ツテ大小不同ノ多數ノ靜脈結石ヲ認メタ場合ハ凝血ノ石灰化ニヨル結石デハナクシテ、血管内被細胞ノミナラズ、靜脈管ソレ自身モ異常ニ増殖シー面ニハソレガ varikös (靜脈瘤性) ニ内腔ヲ變化シテ Varikosität ノ状態ヲ示シ、他面ニハ所在ニ内被細胞ノ異常増殖デ靜脈結石ヲ生ジタモノト考ヘネバナリマセン。サテ此ノ發生シタ場所ハ何處デアリマスカ。」

學生「……………」

教授「コレハ筋肉内デアリマス。即チ筋肉内デ靜脈ガ一方ニ新生シー方ニ靜脈瘤ヲ形成シ、結石ヲ作ツタモノデアリマス。ソレデ筋肉ガ次第ニ侵サレ筋膜モ亦タ所々菲薄ニナツタモノデアリマス。歩行ノ時ニ局所ニ鈍痛ヲ訴ヘルノハ筋膜ガ伸展サレ菲薄ニナツテ居ル所ガアルカラデアリマス。マタ此部ニ筋肉ノ纖維性搖蕩ヲ認メルノモ、筋間ニ靜脈腫ガ出來テ居ルカラデアリマス。」

靜脈瘤ハヨク Vena saphena magna (大薔薇靜脈) ノ瓣膜障碍カラ起ルノデアリマスガ、此ノ場合ニハ元來カラアル皮下ノ靜脈ノ異常擴張及ビ異常彎曲ガ現レ且ツ所謂 Trendelenburg 氏ノ現象ヲ認メルノデアリマス。即チ患者ヲ横臥セシメテ大薔薇靜脈上部ヲ壓迫シナガラ起立セシメマスト、靜脈瘤ハ現レ難ク、壓迫ヲ取ルト瞬時デ再ビ明ニ靜脈瘤ガ現レルノデアリマス。此ノ患者デハ Trendelenburg 氏ノ現象ハアリマスカ。」

學生「アリマセン」

教授「本例ニ於キマシテハ、上ヲ被ツテ居ル筋膜ハ下ヨリノ壓迫ニヨリ或部デハ緊張シ、或部デハ壓迫萎縮ノ爲ニ菲薄トナツテ居リマシテ、深部ノ内轉筋群ノ靜脈カラ増殖性ニ發生シタ靜脈瘤ト認ムベキモノデ Trendelenburg 氏現象ハアリマセン。ソレデスカラ足ニカヲ入レ筋肉ヲ收縮サセマスト、腫瘍ハ部分的ニ消失スルノデアリマス。即チ靜脈瓣ノ不全ニ次ケ靜脈血ノ鬱滯ガ原因デ發生シタモノデハナクシテ、前ニ述ベタ様ニ靜脈管全體ノ異狀増殖及ビ内被細胞ノ腔内ニ向ツテノ異常増殖ノ結果トシテ起ツタモノデ、ツマリ靜脈ヲ構成シテ居ル各組織ノ異常新生ガ原因デアリマス。」

教授「治療法ハ、」

學生「手術ニヨツテ取去リマス。」

教授「治療ハ相當ニ困難デアリマス。上ハ鼠蹊皺襞ニ及ンデ居リ、多數ノ筋肉内ニ侵入シテ居リマスカラ、場合ニヨリ全部ヲ剔出スルコトガ出来ナケレバ深部靜脈トノ交通枝ヲ結紮シテ、其大部分ヲ剔出致シマセウ。」

手術所見。右大腿内側ニ於テ膨隆部上ニ大切開ヲ加フルニ筋膜ハ所々菲薄トナリ居リテ靜脈血ヲ滿セル蔓狀腫瘍塊ヲ透シ見得。上方ハ小部分鼠蹊部ニ連リ下方モ同様ニ小部分膝窩ニ及ブ。此兩部ヲ集合結紮ニヨリテ切斷シタル後中央部ニ於テ深部筋層内ニ侵入セル部ハ一部筋肉ト共ニ切除シ其殆ンド大部分ヲ剔出スルヲ得タリ。腫瘍ハカナリ太キ擴張セル靜脈ヨリ成立シ所々ニ純白色米粒狀乃至大豆狀ノ靜脈結石ヲ容ル。（終リ）